

議会だより

しらたか

2017年10月17日発行
(平成29年)

Vol.136

山形県白鷹町議会
9月定例会

《…議会の録画中継を配信中！町のホームページから…》

「しんけんなまなざし」

よつばこども園 運動会に向けて 18頁に関連記事

町道の維持管理の推進へ . . . 2p

お金の使い道を審議 決算審査 . . . 4p

・ こども園にさらなる補助 補正予算審議 . . . 10p

・ ここが聞きたい 一般質問 4人の議員が町政を問う 12p

・ 追跡あの事業は今 婚活サポート事業 . . . 18p

・ シリーズ まちのドクター先生！ . . . 20p

管理の推進へ

これからは **平成29年度補正予算**
地域の安心安全の確保に重点を

安全対策のための維持補修費

追加金額 1169万8000円



優先順位は

当局 交通量や受益者の戸数などを総合的に勘案し、緊急性の高いものから補修を行う。

要望箇所は

町全体の町道維持工事の要望箇所
約60か所



計画における順位の説明と
将来の見通しの説明を

10頁に関連記事

9月 定例会

定例会は9月5日から14日までの10日間で開催され、
●平成29年度補正予算 ●人事1件 ●条例3件 ●工事等請負契約5件 ●字の区域・名称変更3件 ●町道認定1件 について審議し、原案のとおり可決しました。また、●請願3件について、1件を採択、2件を不採択としました。
一般質問は4議員が行い、町政全般について問いました。

施工業者決まる!

可決

- 契約** ●白鷹町まちづくり複合施設等整備工事請負契約の締結
契約の方法 指名競争入札
契約金額 25億8876万円
契約の相手方 那須・鈴木特定建設工事共同企業体
- 補正** ●建築需要促進事業補助金 400万円 小さなリフォーム工事に対する補助金

7月12日
第6回臨時議会

クローズアップ

平成28年度事業

4 頁に関連記事

介護老人保健施設建設融資事業

認知症専門棟 20 床が開設

建設費用として、町で借りて地域総合整備資金を貸し付け

貸付金 1 億 1 3 0 0 万円

利子も町で負担 利 息 約 5 3 5 万円 （75%は特別交付税で返ってくる）

入所状況

町内の方 13 人

町外の方 7 人

（10月1日現在）

認知症専門棟とは

認知症のため支援が必要な方が安心して穏やかに過ごせるように、日常生活の支援が受けられる専門棟です。



【町の認知症高齢者の状況】

認知症高齢者数 5 6 3 人

在宅者 4 8 4 人

【認知症予防対策事業】

- 物忘れ相談事業
- のどかカフェ実施事業（ちょぼらの家）
- 認知症初期集中支援推進事業



認知症の方の在宅者の増加が見込まれるなか、グループホームの在り方も検討すべきです！

を審査しました

予算を使ってどのような成果が・・・

各会計決算の議決状況

会 計 項 目			歳入（収入）	歳出（支出）	議決 状況
一 般 会 計			88億8604万円	83億4192万円	全 員 賛 成 に よ り 認 定
特別会計	十 王 財 産 区		114万円	19万円	
	下 水 道		5億7368万円	5億5790万円	
	国民健康保険		19億4033万円	18億4591万円	
	農業集落排水		1億4723万円	1億4026万円	
	介 護 保 険		16億1727万円	15億7039万円	
	後期高齢者医療		1億3865万円	1億3749万円	
事業会計	水 道	収益的	3億826万円	2億6716万円	
		資本的	1325万円	1億3041万円	
	病 院	収益的	11億1834万円	11億4183万円	
		資本的	99万円	8839万円	
	訪問看護 ステーション	収益的	2991万円	3232万円	
		資本的	0円	0円	
合 計			147億7509万円	142億5417万円	

（万円未満は端数を調整しています。）

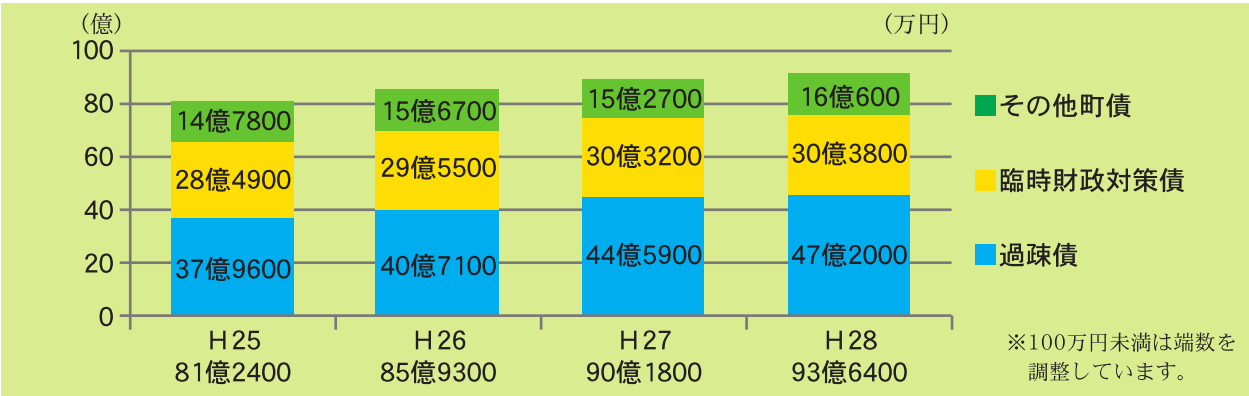
※「収益的」は事業に係る収入と支出。「資本的」は施設・設備に係る収入と支出。



健康寿命の向上を

借金（地方債）残高の状況は

●地方債とは、町が会計年度を越えて行う借入れのことです。



■その他地方債

災害復旧事業債や教育福祉施設整備事業債など。

■臨時財政対策債とは

国の財源不足を補うための地方の借入れ。

返済額すべてが普通交付税として入る。

■過疎債とは

過疎地域にあたる市町村限定で、発行が認められる借入れ。

返済額の7割が普通交付税として入るが、3割は町負担。

平成28年度決算 お金の使いみち



楽しくべんきょう（愛真こども園）

28年度に行った主な事業

・まちづくり複合施設の実施設設計と用地取得等	1億6798万円	・道路維持作業車の更新	777万円
・認知症専門棟建設への資金貸付	1億1300万円	・スクールバス車庫の整備	6213万円
・認定こども園への施設型給付	2億 643万円	・荒砥小学校の大規模改修	2億1540万円
・担い手農業者への機械導入等補助	2894万円	・ソフトボール場・野球場改修工事	1億7741万円
・木材乾燥施設等整備への補助	2000万円	（万円未満は端数を調整しています。）	

わが町の 財政力

区分・年度	平成28年度	平成27年度	説 明
財政力指数	0.277%	0.269%	高いほど自主財源の割合が高く、財政力が強い。
経営収支比率	87.4%	84.4%	低いほど独自の政策のために使えるお金が多い。
実質公債費比率	7.6%	8.6%	収入に対する負債返済の割合。

賛成討論

質の高い行政サービスを

小口 尚司 議員

町税等が少なく、今後も交付税や国・県の有利な財源を確保し、厳しい財政を支えて行く必要がある。

主に、子育て世代の負担軽減、青少年国際交流事業や若者定住サポート事業、県内自治体に先駆けた緑の循環システム構築への取り組みなど、多くの事業は高く評価する。人口減少は財政運営への影響も少なくない。今後も共創のまちづくりの理念のもと、質の高い行政サービスと町民生活の向上、そして町政発展に尽力されることを望む。

監査意見書

町民福祉向上に一層の努力を

代表監査委員 竹田 謙一
監査委員 山田 仁

平成28年度の財政状況は、經常収支比率等、健全化への努力がみられた。

町税は、製造業等に改善が見られ、増収となった。

少子化の中、今後も、安心して子育てができる環境づくりを推進されたい。

また、林業振興と連結した事業展開や、紅花を核とした通年の事業展開を望む。

まちづくり複合施設整備も、着実に進められたい。

今後も、効率的な事務事業を推進し、町民福祉の向上に一層の努力を望む。

決算特別委員会

質疑

歳入 (町の収入)

ふるさと納税の増加の要因は

小形委員 ふるさと応援寄附金の額が大幅に伸びている要因は。

商工観光課長 返礼品の中で、特に洋服の仕立券が7割を占めていることが要因ととらえている。

佐藤委員 町の借金93億円のうち、国の交付税措置分を除いた実質的な町の負担分は20億円程度だとしているが、交付税の今後の見通しは。

総務課長 交付税は、減額を見込んでいるとの国からの情報もある状況を見守りながら財政運営をしていく必要があると考えている。

交付税の今後の見通しは

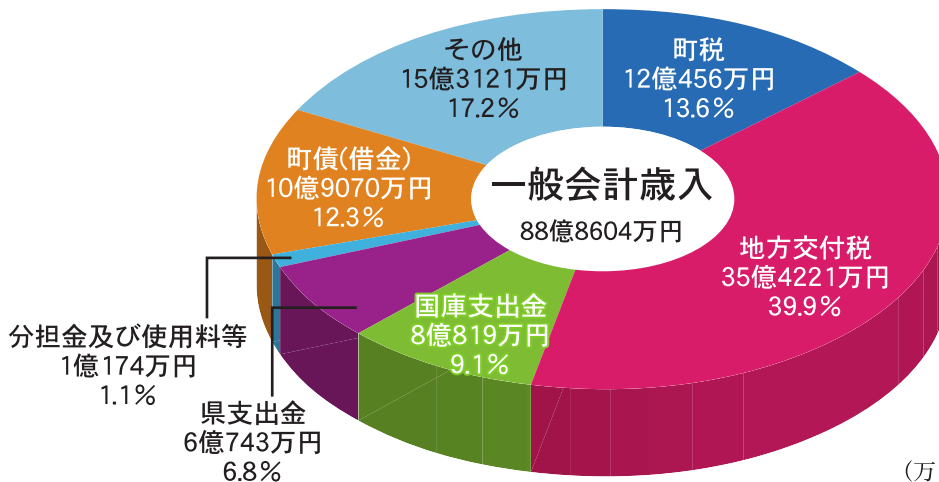
納税者への対応は

奥山委員 納税者の生活に沿った収納のやり方も大事である。納税者に寄り添った対応は。

副町長 納めていただくことが難しい状況があることも承知している。税務相談で、その方の立場、生活の状況に即し、相談に応じていく。



スーツの仕立てやパラグライダー体験などの返礼品



(万円未満は端数調整しています)

質疑

歳出

（町の支出）



活躍する地域おこし協力隊員

総務費

移住相談会の実績は

笹原委員

移住相談会を6

回は。回開いたようだが実績は。

商工観光課長

相談会が6回で96人、本町へのツアーが2回で18人の参加。移住に至ったケースはなかった。

鷹山地区の活性化と観光交流は

佐々木委員

鷹山地区で

の集落ネットワーク圏形成事業、町の観光交流との連携は。

企画政策課長

観光協会等との連携により、地域の事業をもとにして観光交流を拡大していきたい。

地域おこし協力隊員の将来は

笹原委員

町としてどうな

っているか。つてもらいたいと考えているか。

町長

新たな視点で地域づくりに参画していただき、できれば定住してほしい。

職員の時間外勤務は

奥山委員

特に若い人に対しての時間外労働が問題になっている。少し

民生費

町保育協議会への支援は

奥山委員

40年も前から活動をしている協議会である。会報発行への補助だけでなく、保育の質を考え、もう少し手立てをするべきでは。

健康福祉課長

協議会の自主的な活動を尊重し、各園の連携がはかられる形での支援について、考えていく必要がある。

衛生費

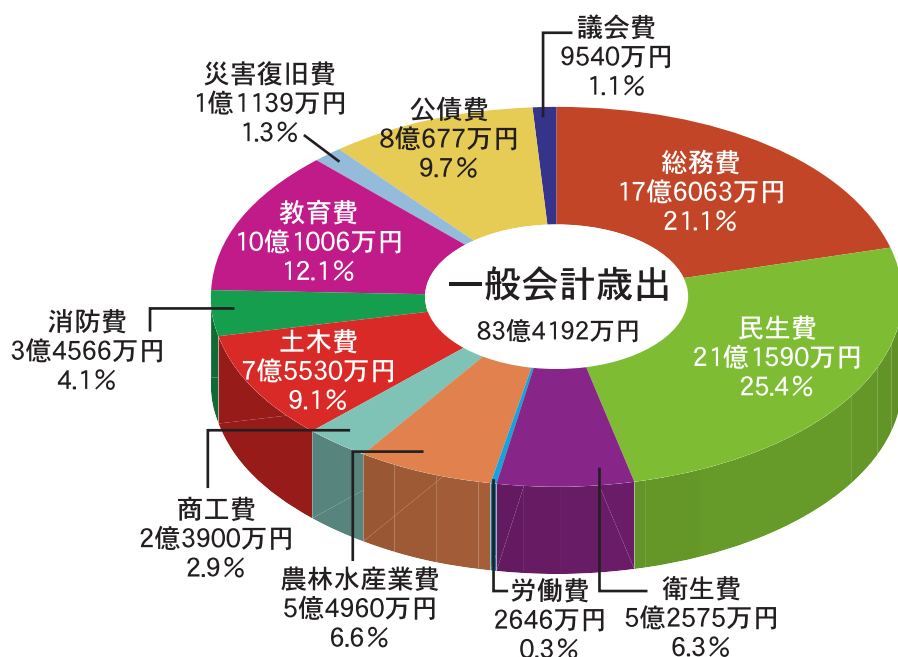
美しい郷づくり推進事業の実績は

石川委員

地域の環境保全を推進しているが、実績は。

町民課長

有価物回収を実施している団体への補助のほか、固形石鹼作り、EM発酵液による小中学校プールの清掃、エコドライブ講習会などを実施している。



歳出 (町の支出)

質疑



守る、おたすけ電気柵

農林水産業費

再造林は進むのか

渡部委員

森林再生基金は、

今後どのように活用していくのか。

農林課長

再造林経費の自己負担は県で対応するため、再造林後の保育経費を支援する事業に切り替える。

農業地域の今後は

田中委員

農業振興地域整備計画の今後の方向性は。

農林課長

現在計画を見直している。確保すべき農地と非効率的な農地の区分が議論になっているが、年内には計画をまとめたい。

熊やイノシシ対策は

佐々木委員

電気柵など鳥獣被害防止対策を行う方が増えているが、町単独の支援は。

農林課長

国や県の補助事業だが、申請が増え県だけで対応できなくなれば、町の事業も検討していく必要があると考えている。

商工費

企業立地促進事業と、若者の定住は

佐々木委員

事業の推進とともに、定住意識の向上に向けた取り組みも必要。町の考えは。

町長

若者への働く場所の情報提供など、試行錯誤をしながら、町の後継者づくりに取り組んでいきたい。

白鷹町の観光の将来は

奥山委員

工芸体験まつりなどの来場者へアンケートなどを取るべきでは。サテライトオフィスの観光に対する役割は。

町長

今後は、3市5町による、定住自立圏を含めた中で検討、広域的な観光が必要になってくる。



家族で楽しむ陶芸（のどか村）

土木費

歩道の降雪不良は

佐々木委員

道路で、水量や路面状況により歩道の雪が融けず、住民が奉仕で除雪している箇所があるが、対応は。

建設水道課長

舗装の修繕などを行いながら改善していきたい。

商工観光課長

工芸体験まつりなどでアンケートを取ったことはない。サテライトオフィスは、観光関係のPRもしている。今年度は、首都圏白鷹会の方28人が、ふるさと訪問で来町される。

消防費

消防団員の確保が
困難と聞くが

小形委員

団員定数
は適当

か、または改正も必要
と考えるか。

総務課長

団員総
数670

人中53人が再入団。地
域によっては班編成等
の見直しもふまえなが
ら、現在の定数は確保
していきたい。



若い力で町を守る！

防火水槽の増設は

笹原委員

防火水
槽の設置

は各地区から要望が多
い。毎年分団に一基の
割合で新設できないか。

総務課長

各区か
ら有蓋化
の要望はいた
だいてい
る。ここ数年
は2基程度
ずつ整備を
してきた。
財政計画等
をふまえて
つ有蓋化に
向けて推進
をしていく。

教育費

白鷹高等専修学校
への支援拡充は

佐々木委員

生徒
数が増

え校舎が狭く
感じるが、
校舎の改修も
視野に入
れた今後の
支援拡充は、

町長

生徒出身地
の3市4町に
支援要請し
ながら、今
後の動向を
見て対応し
ていきたい。

部活動へのコーチ
派遣、成果は

田中委員

「RO
*KUL」

による部活動
へのコーチ
派遣の活動
状況と成果
は。

教育次長

各小中
学校での
ランニング
指導と荒砥
高校テニス
部へのコー
チ派遣。若
鮎マラソン
での成績ア
ップや、テ
ニス部の各
種優勝につ
ながった。

災害復旧費

被災原因の改善は

佐々木委員

復旧
した箇

所が再び被災
しないよう
に、原因の
改善が必
要だが、取
り組みへの
考えは。

建設水道課長

原因の解消
は町が単
独事業でや
らなければ
ならない状
況だが、な
るべく復旧
の中で改善
できるよう
検討してい
きたい。



専門技術を習得（白鷹高等専修学校）

国保特別会計

国民健康保険の
広域化の影響は

奥山委員

平成30
年度から

広域化になる
が、保険
者努力支援
制度による
交付金は、
町に直接入
ってくるの
か。

町民課長

平成30
年度以後
も進められ
ていくもの
と認識して
いる。

病院事業会計

病院経営の改善策は

奥山委員

病院も
ある程度

サービスを
いうことを
念頭にお
いて、職員
教育をどう
していくの
か。

病院事務局長

毎年、全
員参加の
接遇研修を
開催してい
る。

親切丁寧な
対応をこ
ろがけ、
安心して
いただける
よう、職
員一丸と
なり徹底
して対応
したい。

訪問看護事業会計

訪問看護
ステーション
の事業の
ありかた

奥山委員

地域包
括ケアと

の連携を考
えた場合
、事業及び
経営をど
うに進め
ていくの
か。

病院事務局長

訪問看護
ステーション
は、地域包
括ケアシ
ステムの中
で重要な
位置を占
めている。
少しでも
利用者増
に結び付
け、経営
改善に努
力したい。
先駆的な
事例を参
考にしま
しながら、
頑張っ
ていきな
い。

正算
補予

こども園にさらなる補助

質 疑

質疑
め増額補正するもの。
追加の内示があったた
国的な調整が行われ、
補正した。その後、全
に基づき、6月に減額
当局 国補助の内示

質疑
こども園支援事業費
補正の内容は
委員 こども園支援
事業費補助金は6月に
も補正したが、今回の
補正の内容は。

質疑
中丸公園の杉林は
委員 中丸公園の杉
林は、利用者の日陰と
なっていた。林を伐採
し、平らにする目的は。
当局 球場わきの木
も大きくなっており、
日陰は確保できるもの
と考えている。公園の
芝生広場でグラウンド
ゴルフをしたいとの要
望もあり、整備するも

の。ソフトボール大会
などに支障のない範囲
で利用していただく。



有効利用を待つ杉林跡地

一般会計補正の主なもの

町道維持補修費 1170万円

路面補修工事費等の追加計上。

・中十王線ほか

障害者福祉施設整備事業費補助金 300万円

障がい者通所施設「すぎな」の施設整備に対す
る支援。

こども園支援事業費補助金 330万円

愛真こども園整備に対する県補助の追加交付を
受けての対応。

森林・山村多面的機能発揮対策事業補助金 116万円

森林の保全活動等に取り組む組織に対し、助成
を行うもの。

観光費（修繕料・工事請負費） 300万円

ヤナ場、パレス松風浴室の修繕等への対応。

公園事業費（修繕料・工事請負費） 400万円

公園施設の緊急的な修繕等への対応。

・琴平公園、中丸公園、四季の郷交流広場

スキー場運営事業費（修繕料） 158万円

スキー場圧雪車等を修繕するもの。

など

◎ 財源は国、県支出金、繰越金などで対応します。

平成29年度補正予算総括表

会計項目		補正額	補正後の額
一般会計		8762万円	95億6508万円
特別会計	下水道	162万円	5億3673万円
	国民健康保険	3593万円	19億8896万円
	農業集落排水	82万円	1億6955万円
	介護保険	4482万円	17億4597万円
事業会計	水道	収益的支出 40万円	3億 363万円
	訪問介護 ステーション	資本的支出 24万円	3510万円

※万円未満は端数を調整しています。

請願・陳情

- 「テロ等準備罪」法案の廃案を求める意見書提出についての請願 **不採択**

請願者 西置賜革新懇話会
代表世話人 今泉義憲

- 平成30年度以降の米対策の見直しに関する意見書提出方請願 **採 択**

請願者 山形おきたま農業協同組合
代表理事組合長 木村敏和
ほか1名

意見書要旨

米の需給と価格の安定のため、必要な環境整備、取り組みをすること。



飼料用稲の収穫

- 憲法9条を改憲しないよう国に求める意見書提出の請願 **不採択**

請願者 西置賜革新懇話会
代表世話人 今泉義憲

賛成討論

9条への自衛隊明記は、日本の自衛権だけでなく集団的自衛権が認められる。「9条改憲を阻止」の声を国会へ。

- 「全国森林環境税の創設に関する意見書採択」に関する陳情

陳情者 全国森林環境税創設促進議員連盟
会長 板垣一徳

意見書要旨

森林・林業・山村対策の抜本的強化をはかるための「全国森林環境税」の早期導入を強く求めるもの。

人 事

- 白鷹町教育委員会委員

前任者の任期満了（9月30日）にともない、新たに渡辺久美氏を任命することに同意しました。

条 例

- 白鷹町医療給付事業に関する条例の一部改正

重度心身障がい（児）者医療給付事業の一部負担金の算定基準を改正するもの。

ほか、廃止条例2件

可 決

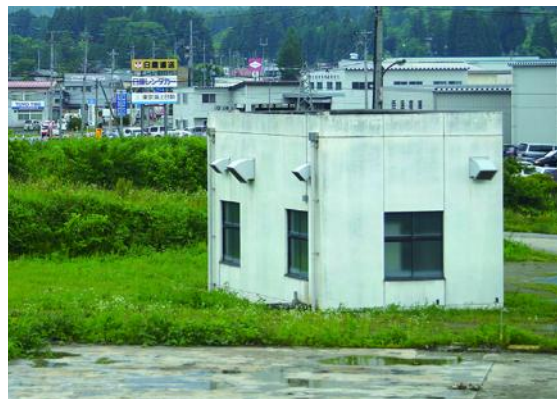
契約・取得

- 日本の紅（あか）をつくる町推進拠点施設整備工事請負契約の締結

契約方法 指名競争入札
契約金額 2億5164万円
契約の相手方 株式会社 鈴木工務店

- 鮎貝中継ポンプ場移設（土木・建築）工事請負契約の締結

契約方法 指名競争入札
契約金額 6426万円
契約の相手方 株式会社 後藤組



移設されるポンプ場

- 荒砥小学校大規模改修工事請負契約の一部変更

校 舎

変更前 2億5056万円
変更後 2億5861万4640円

屋内運動場・プール

変更前 1億1750万4000円
変更後 1億2112万9560円

- スクールバスの取得

取得予定価格 697万3560円
取得方法 売買契約
契約の相手方 有限会社 小嶋自動車整備工場

米政策見直しへの対応は

町長 需要に応じた生産で所得の維持・向上につなげていく

本町農業への影響は

問 米政策の見直しによる、本町農業への影響は。

町長 行政による生産数量配分がなくなることへの不安は、十分承知している。需要に応じた主食用米生産が、最終的に農家所得の維持・向上につながるものと確認しながら取り組んでいく。

今後の「※とも補償制度」は

問 生産調整を支援してきた「とも補償制度」の今後の在り方は。



小口尚司 議員

町長 水田農業実践協議会内に検討組織を設け、近隣市町の情報を収集し、農家の方も交えて検討していく。

飼料用米への取り組みは

問 今年度、試験的にやっている飼料用米への取り組み状況は。

農林課長 町内5法人から、各1ヘクタール分の米を飼料用米として町内養豚業者に提供しようとして取り組んでいる。

問 先進地のように、飼料用米生産を、耕畜連携・畜産振興・生産調整対策として取り組めないか。

町長 地域、生産者、養豚業者、JAそれぞれが理解を深めながら、畜産振興と米政策を両輪で進めていく必要がある。

収入保険制度の周知は

問 新たに始まる収入保険制度の説明と周知は。

農林課長 青色申告を行っている農業者が対象になると承知しているので、青色申告への転換をはかるための方策が必要になってくる。制度の活用を勧めていけるようにする。

農業振興に対する考えは

問 現在の農業を取り巻く状況を踏まえ、農業振興に対する所見は。

町長 若い人たちが夢を持って農業に取り組めるよう支援していく。また、「人・農地プラン」をベースとして農地の集約化をはかりながら、町の特色を生かした産地づくりを推進していく。さらに制度を有効に活用

し、多面的機能の維持・確保と耕作放棄地の発生防止につなげていく。

※とも補償制度
コメ生産者が抛出し、生産調整実施者が補償金として受け取ることに伴い、町の生産調整目標を達成していく制度。



変わる米政策の影響は



農業所得の維持・向上につながる町独自の対応を！

がんの早期発見の推進と対応は

町長 県医師会や他自治体の状況を踏まえて対応



奥山勝吉 議員

がん検診の受診状況は

問 肺、胃、大腸
がん検診の過去
5年間の受診状況は。

健康福祉課長

過去5年間の平均であるが、肺がん検診は受診者数2137人、※要精検者数32人、精検受診率は約70%。
胃がん検診は受診者数1931人、要精検者数275人、精検受診率は約77%。
大腸がん検診は受診者数2437人、要精検者数142人、精検受診率は約76%である。

※精密検査が必要な人。

人間ドックでの課題は

問 がん発見に大
事な項目を、オ
プシオンではなく標準
項目にするなどの対応
は。

病院事務局長

スタッフの通常診療への対応もあり、標準項目にするのは難しいが、日程や時間帯を工夫し、胸部CTのみの検診を実施するなど、受診しやすい検診をつくっていくことも重要と考えている。

若い人たちの検診対応は

問 若い人、特に
乳がん検診の環
境づくりは。

健康福祉課長

無料クーポン券を交付しているが、受診率が上がらない現状がある。まずは、受診率向上に取り組んで行くべきと考えている。

高濃度乳房の乳がん
検診の対応は

問 高濃度乳房と
いう体質の人に
は、マンモグラフィー
とエコー検査を併用す
べきでは。

病院事務局長

町立病院では、検診で乳がんが疑われた方の精密検査で、マンモグラフィーとエコー検査を行っている。

胃がんにおけるピロ
リ菌の検査は

問 町立病院での
ピロリ菌の感染
検査と除菌の対応は。

病院事務局長

町立病院では、医師が必要と認めた場合のみ、診療で行っている。

子ども達へのがん教
育は

問 町の母子手帳
交付時の調査で
は、妊娠前の母親の喫
煙率は24・8%である
子どもたちから喫煙
の問題を教えるべき。
子ども達へのがん教育
推進の考えは。

教育次長

県の取り組みなどを参考に、がん教育につ



早期発見には検診が大切！



早期発見には、自己管理とともに、町としてのがん撲滅のための総合的な仕組みを。

置賜総合病院では、検査項目にオプションとして取り入れている。今後、考慮していきたい。
いて検討していきたい。公益財団法人がん研究振興財団が作成している、がん教育用のパンフレットを活用したい。識啓発にも努めていきたい。

下流域の防災対策は

町長 受益者等の協力をいただきながら、できる限りの対応に努める

下流域の防災は

問

上流部の山腹崩壊等で被害が

起きた河川について、その被害箇所の水路の両側面、川底などをコンクリート等で修復工事をしたが、原状回復だけで終わってしまうことが多い。

上流部が頑丈に整備された河川であり、大雨が降ると、水流が下流部の狭い曲がりくねった水路を一気に破壊し、真つすぐに居住地まで土砂と濁流がおそってしまうことが、幾



石川重二議員

つかの地区で起きている。

上流部が整備された水路で、その下流域が狭ければ、被害を生み出すのではないか。どのように対処するのか。

町長

平成25年の豪雨災害では、山

腹崩壊等により、水路や河川に土砂や流木等が土石流となつて流れ込み、橋脚や暗渠をせき止め、被害をさらに大きくした。

対応策として、水路の受益者等の方々の協力をいただきながら、

支障物の撤去に努めるとともに、町としてもできる限りの対応に努めていく。

源八沢への対応は

問

源八沢について、県道の下を

横断する水路があるが、上流部の幅員に比べると約半分くらいの狭い水路となつている。県に現状を示し、改善してもらつよう早急に協議すべきではないか。

町長

あの地域は、少し大

雨が降ると、常に浸水の危険性があると認識している。県や、それぞれの水路を管理する方々とも協議を進め、前向きに検討する。



源八沢の洪水（赤坂地区）



洪水時における下流域被害の防止対策を！

再造林や「緑の循環システム」の推進は

町長 初期の保育施業のかさ上げ補助を検討

森林境界明確化の現状は

問 森林境界明確化について、平成28年度は計画以上の実績があった。今年度の状況は。

町長 境界明確化モデル事業として平成28年度までの3年間で計176ヘクタールを実施した。今年度は、滝野地区で50ヘクタールの境界明確化を進めている。作業が完了した地区では「森林経営計画」を策定することにより、国の補助事業の活用が可能となる。補助を活用し、利用間伐や作業



渡部善美議員

道などの路網整備を行うことで効率的な作業が可能となり、間伐材の売却益を森林所有者に還元していくことも可能となる。

は 間伐の取り組み状況

問 町内の間伐の取り組み状況と課題をうかがう。

町長 平成27年度以降、およそ59ヘクタールほどの間伐が実施された。近年、地域の方が積極的に間伐などの森林整備に関わるようになってきたと思われる。課題としては、所有者や境界が不明確であ

るため間伐が実施できないことや、森林に全く関心のない所有者の方がいることである。

「緑の循環システム」の推進は

問 再造林や「緑の循環システム」をどのように推進していくのか。

町長 林業経営では、再造林に係る初期費用が最もコストが高いといわれている。再造林せず伐採したまま放置されることが多く、その影響が懸念される中、再造林費を助成する施策が打ち出された。植林後の保育経費として、下刈り・除伐・枝打ち・間伐などの作業に係る費用が必要になる。「緑の循環システム」の加速化のために、初期の保育施業のかさ上げ補助を検討したい。



路網整備の推進を！



間伐によって日光が根元に

総務厚生常任委員会

地域交流と一時避難所の役割も

9月7日に委員会が開催され、白鷹福祉会が行う特別養護老人ホーム白光園の移転新築案の説明を受けた。

白光園の開設が待たれる

【開設目標】

平成31年11月

【施設概要】

◇地域交流エリア

地域交流棟（大ホール等）・ひろば等

◇特別養護老人ホーム

ユニット型個室
ショートステイ

◇建物

延床面積 約7800㎡
（※設計過程で変わります。）
木造、平屋建



解体が進む旧西中学校

質疑

地域交流について

委員 地域交流棟の維持管理や、ひろばの利用はどうなるのか。

当局 地域交流棟の維持管理は白鷹福祉会が行う。有事の際は、一時的な避難所として使わせていただく。地域交流棟やひろばの利用は、法人において、今後、地域と話をしていくとのことである。

持続可能な医療保険制度の構築へ

【制度改革の概要】

①運営手法の見直し

平成30年度から、県が市町村とともに財政運営の責任主体となり、制度の安定化をはかる。

②公費の拡充

国保への財政支援を拡充し、財政基盤を強化する。

質疑

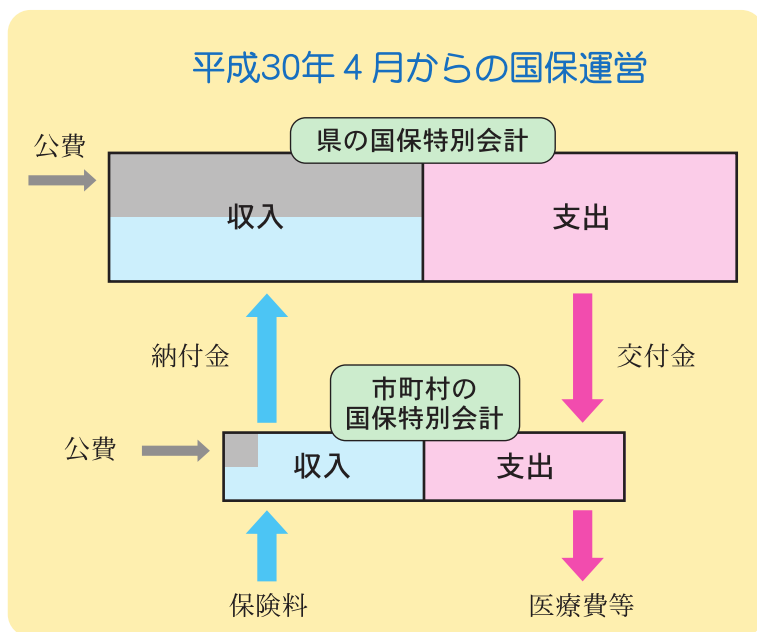
保険料はどうなる

委員 広域化により保険料は上がるのか。

当局 保険料は自治体間に差がある。現時点では、わからないとしか申し上げられない。

広域化における影響は

国民健康保険制度改革について説明を受けた。



その他
○まちづくり座談会の実施状況
○定住自立圏構想
○第8次高齢者保健福祉計画・第7期介護保険事業計画
○第5期障がい者福祉計画・第1期障がい児福祉計画
について説明があった。

除雪、生活道路の安全確保を！

9月8日に委員会が開催され、平成29年度除雪計画（案）について説明を受けた。

町民生活の安定に向け、除雪のあり方を検証

【除雪体制】

道路除雪は、昨年度からの18社と、新規2社で検討する。

歩道除雪は、高齢化等により操作員の確保が困難な状況にあり、委託体制の見直しを検討する。

【除雪終了時間の早期化】

①除雪単価の見直し

県の単価区分に準じ、日中、深夜、時間外の3つの単価を導入する。

②雪押し場の確保

地域にも理解いただき、雪押し場の確保

をはかるべく、広報

活動を強化する。

③間口除雪の検討

健康福祉課など関係機関と連携をはかり、検討していく。

④作業技術の向上

オペレータの養成を業者に依頼するとともに、町でも研修について検討する。

⑤ロータリー除雪車の試験的導入

【排雪場の確保】

排雪場は「荒砥橋下流最上川右岸河川敷」であるが、状況に応じ、増設も含め検討する。

※主な検証事項のみ記載しています。

質疑

雪押し場・雪捨て場の確保は

委員 雪押し場の確認は。

当局 除雪業者に、地域と連携して確認するようお願いしている。各区長にも、確認のお願いをしている。

委員 荒砥橋右岸は道路工事中である。雪捨て場で混乱しないか。

当局 通行止めするとは聞いておらず、排雪には問題ないと考えている。



雪の通学路



土日の連絡体制の強化を



企業誘致を待つ

新たな企業誘致を

企業誘致の状況について説明を受けた。

【経過】

8月17日、鮎貝土地区画整理地内での操業を目指していた株式会社ニッセイエコから、操業を断念する旨の回答があった。

【今後の対応】

購入した土地を、事業継承してもらえらる企業へ譲渡していただく

質疑

事業継承の見通しは委員 事業継承する企業の見通しはあるのか。

当局 商工会や金融機関、県等の関係機関の情報を得ながらあたっていく。

その他

- 買い物環境充実支援事業
- 水道事業経営戦略の策定
- 都市計画マスタープラン
- 町道路線の認定
- 荒砥小学校大規模改修事業
- 町史料の保管状況
- 観音寺観音堂保存修理事業について説明があった。

白鷹町婚活サポート事業

取り組みの状況と、今後をさぐる



成人式アンケート

町が新成人に対して将来の意識調査を行った

8〜9割が結婚したいと考えているが、緩やかに減少傾向にある。
仕事を続けながら子育てをするという、バランスのとれた生活を送れる仕組みづくりが求められる。

成人式で行ったアンケート結果（H27～H28）		
町に住み続けたい、または帰りたい		約5割
結婚したいと思う		8～9割
結婚したい年齢	25～29歳	6～7割
	30歳代	1～2割
SNSを利用している		約8割

むずかしい点

- ◇婚姻の自由がある一方、結婚しない自由もあるといわれるなど、個々の考え方に大きく左右され、プライバシーの問題にも関わってくる。
- ◇婚活イベント等への参加に対する思いや、結婚相手としてこだわる条件に男女のちがいがあ。など

求められるもの

- より多くの出会いのチャンス
- 価値観を共有できるよう、趣味に応じてテーマを絞った多彩な企画
- 構えることなく気軽に参加でき、安価な企画
- SNSを活用したイベントの参加募集など



若者の結婚に対する意識の高さはうかがえますが、どの自治体も婚活イベントの成果はなかなか現れないとのことです。

ゲームやSNSが発達した昨今、あまり外に出歩かない若者が増えていると同時に、収入の低さや奨学金の返済に追われるなど、経済的な面でもなかなか結婚に踏み切れない方も多いと聞きます。

婚活サポーターのますますの活躍に期待するとともに、行政による子育て生活のしやすい環境づくりが求められます。



表紙



よつばこども園運動会に向けて

子どもたちは、いっぱい練習をしました。太鼓をたたく時の真剣なまなざしと、迫力のある手の動き、気迫と熱気が伝わります。本番では、みんなにかっこいいところを見せよう！



追跡レポート

— あの事業は今？ —

出会いを応援する

列車で婚活イベント【白鷹・長井・南陽合同企画】



花結びTRAINできょうは恋日和

7月9日、男女30人が参加し、四季の郷駅から長井線に乗車、ゲームや『白鷹をあがってごえ弁当』のランチで交流を行った。その後“あゆーむ”に移り、1対1でのフリートークや、3市町自慢のスイーツバイキングを楽しんだ。

最後はマッチングタイム、めでたく3組のカップルが成立した。

H28年度

これまでの取り組み

- 独身者への意識調査
- 婚活者宅への情報提供、見合いへの勧誘
- お見合いなど出会いの場（お見合い16件）
- 「婚活応援室」による結婚相談会（相談5件）

●各種婚活イベント

- 紅花コンinしらたか（参加24人）
- やまがたの田舎に美味しいを見つけに行こう（参加21人）
- 春よ来い恋 わたしの春（参加15人）
- 魅力アップセミナーと婚活パーティー（参加24人）

◇成婚件数 平成27年度 1件
平成28年度 0件



飯豊町消防団音楽隊

町の人口増加と団の活性化を目指し、女性全般と男性団員を対象としたお見合いイベント『ポンプコン』を開催して今年で5回目となります。昨年までに2組が成婚に至っているとのこと。

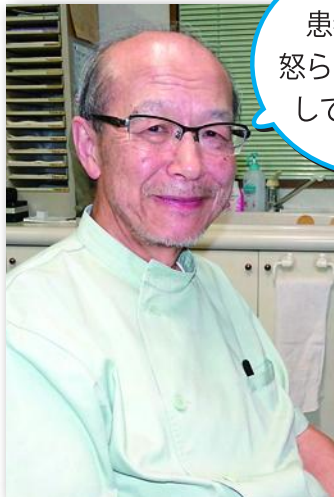
また女性団員を積極的に採用し、消防団音楽隊を結成し、団の行事のほか地域のイベントに参加するなど、地域の活性化にも取り組んでいます。

近隣の取り組みは

はっぴでハッピー

『ポンプコン』

ー飯豊町消防団ー



大森 典夫 先生
(荒砥地区)

患者さんを
怒らないように
しています。

シリーズ

まちのドクター先生！

みんなを元気に！



新シリーズの2回目
は大森医院の大森典夫
先生です。

患者さんに優しく接
したいというのが先生
の信条のようです。

プロフィール

宮 城県川崎町の生ま
れて父も医者でした。

出身は弘前大学です。
東北大学で食道外科を
学び、長井市立総合病
院勤務を経て、平成6
年に開業しました。
診療科目は内科、外
科、肛門科、胃腸科、
皮膚科です。

趣味はゴルフ

ゴルフは考えながら
体を動かすので健康に
とてもいいと思います。
知り合いもたくさん
できて楽しみも増えま
すね。

気になること

町の医療体制で気にな
るのは後継者問題で
す。町内出身の若い医
師も戻ってこないのが
現実です。どの先生方
も危機感を持っていま
す。

心掛けていること

患者さんを怒らない
ようにしています。た
とえば、ケガなどをし
てすぐに受診しないた
めに悪化させてしまっ
た人に対して、なる
べく怒らないようにし
ています。患者さんを
委縮させてはいけませ
んから。



デジタル聴診器

子どもたちの健康状態

肥 満の子が最近増え
ています。

子どもは成長するの
で、食生活を改善した
り、運動などで経過を
見るのが大切です。
親の協力も欠かせま
せん。

大切な健康診断

自己判断で健康診断
を受けない人がいます
が、体調が良くても悪
くても、毎年受けるこ
とが大切です。

検診では見つかりに
くい病気があるので、
常日頃から食事に気を
つけたり、体を動かし
たりして、健康管理を
することが大切です。

ひとことアドバイス

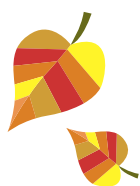
これから夏から秋、
秋から冬に向けて気を
付けなければならな
いことは、季節の変わり
目に喘息が悪化したり、
風邪をひきやすくなる
のでご注意ください。

町へ望むこと

少 子高齢化の時代、
産業構造の変化に目を
光らせ、先を見据えた
町政を。

取材を終えて

終始穏やかな笑顔で
答えてくださいました。
今回も自分勝手な判
断は文字通り『命取り』
となることを学びまし
た。



編集後記



▼毎年9月の定例会で
は、町の前年度会計の
決算審査を行います。
12日に開かれた決算
特別委員会は、活発な
質疑により、会議時間
を延長しての審議とな
りました。

▼会議の様子はどなた
でも自由に見ることが
できます。直接議場に
来られない方は、パソ
コンやスマホなどでも
生中継や過去の録画
中継を見ることができ
ます。また会議録もイ
ンターネットで配信し
ています。

町のホームページ、
または下のQRコード
からアクセスできます
ので、ぜひ一度ご覧に
なってみてください。
(佐々木)

広報委員

委員長 奥山 勝吉
副委員長・編集長 佐々木 誠司
委員 石川 重二
委員 笹原 俊一
委員 渡部 善美
印刷・(有)梅津印刷

発行責任者 白鷹町議会 議長 遠藤 幸一 編集 議会広報特別委員会

〒992-0892 山形県西置賜郡白鷹町大字荒砥甲833番地 電話 0238-85-6135 FAX 0238-85-2128

E-mail gikaijimu@so.town.shirataka.yamagata.jp HP <http://www.town.shirataka.lg.jp/gikai/>



お手持ちのパソコンで議会中継をご覧いただけます。
録画でもご覧いただけます。

議会だよりのご意見・ご感想などを
議会事務局までお寄せください。